

(2)農作物共済関係

1) 引受

区分	項目	引受戸数 (戸)	引受面積 (a)	引受収量 (kg)	共済金額 (円)	共済掛金 (円)	納入保険料 (円)	交付金 (円)	手持掛金 (円)	引受筆数 (筆)	補償割合 (割合・戸数)					
											7割	6割	31	5割	139	
水 稲	一筆	7,372	278,518.3	9,645,666	1,910,266,580	637,754	0	171,447	809,201	32,431	7割	7,202	6割	31	5割	139
	半相殺	13	392.0	14,635	2,912,365	1,059	0	186	1,245	40	8割	6	7割	3	6割	4
	全相殺	14	520.9	21,387	4,256,013	3,777	0	452	4,229	60	9割	6	8割	6	7割	2
	小計	7,399	279,431.2	9,681,688	1,917,434,958	642,590	0	172,085	814,675	32,531						
麦	一筆	10	1,110.1	13,176	509,108	7,885	6,182	0	1,703	74	7割	10				
	災害収入										9割					
	小計	10	1,110.1	13,176	509,108	7,885	6,182	0	1,703	74						
合計		7,409	280,541.3	9,694,864	1,917,944,066	650,475	6,182	172,085	816,378	32,605						

(注) 麦は令和2年産

引受状況 水稲はNOSAI部長(部農会長)に水稲共済加入申込書兼変更届出書を配布し、取りまとめを依頼した。収入保険制度への移行や公共事業による耕作面積の減少や高齢化に伴う休耕のため、23,008.5aの減となる。  
麦は、各地区での作付け面積の増により、全体で、22.5a増となる。

2) 被害

区分	項目	kg 当り金額 (円)	被害			共済減収量 (kg)	支払共済金 (円)	支払共済金財源(円)			支払年月日
			戸数(戸)	面積(a)	筆数(筆)			保険金	手持掛金	法定積立金	
水 稲	一筆	199円・100円・40円	629	13,732.1	1,596	190,414 △1,823	37,062,110	20,688,921	809,201	15,592,482	令和1年12月26日
	半相殺	199円	1	10.0	1	142	28,258	10,449	1,245		
	全相殺	199円	1	35.1	5	116	23,084	6,925	4,229		
	小計	—	631	13,777.2	1,602	188,849	37,113,452	20,706,295	814,675	15,592,482	
麦	一筆	小麦 17円 二条大麦14円・125円 六条大麦22円	3	178.9	18	1,254 △705	13,240	3,310	1,799	8,131	令和1年10月3日
	災害収入	—									
	小計	—	3	178.9	18	549	13,240	3,310	1,799	8,131	
合計		—	634	13,956.1	1,620	189,398	37,126,692	20,709,605	816,474	15,600,613	

※(参考)平成31年産 麦 被害対象引受

区分	項目	引受戸数 (戸)	引受面積 (a)	引受収量 (kg)	共済金額 (円)	共済掛金 (円)	納入保険料 (円)	交付金 (円)	手持掛金 (円)	引受筆数 (筆)	補償割合	
麦	一筆	10	1,087.6	13,525	461,290	8,333	6,534	0	1,799	85	7割	10
	災害収入										9割	
	計	10	1,087.6	13,525	461,290	8,333	6,534	0	1,799	85		

被害状況 病害では不稔粒がみられ、虫害では移植期にスクリノガイによる苗の食害も発生、8月下旬ウンカが大発生し、稲を枯らせ登熟不良となり、大きな被害となった。8月14日台風10号影響により倒伏が発生、台風15号の降雨により、伊東市池地区の耕地全体が水に浸かり稲が腐敗した。また、10月12日台風19号の影響で圃場に土砂及びゴミが流入し刈取不能となった。その他、山間地域では、猪、鹿による獣害が多発し、早稲品種を中心に大きな被害となった。  
麦は、1月下旬から3月上旬までの長雨により、土壌湿潤害が発生した影響で生育の遅れ6が見られた。3月下旬にシカが圃場に侵入し食害を受けた。さらに4月下旬から5月上旬にかけての降雨で、土壌の湿潤状態が続き、生育が進まず状況が悪化した。

(3)家畜共済関係

1) 引受

区分	項目	引受戸数 (戸)	引受頭数 (頭)	共済価額 (千円)	共済金額 (円)	1頭当り平均 共済金額(円)	共済掛金 (円)	納入保険料 (円)	交付金 (円)	手持掛金 (円)	
死亡 廃用 共済	搾乳牛	92	7,030	5,029,338	1,435,872,370	204,249	52,336,854	31,402,085	0		20,934,769
	繁殖用雌牛	16	258	200,513	87,861,050	340,547	761,101	459,798	0		301,303
	育成乳牛 (子牛等)	81	2,827	2,165,470	497,501,262	175,982	1,647,918	988,724	0		659,194
			441	161,656	35,594,999	80,714					
	育成・肥育牛 (子牛等)	104	8,438	5,372,827	2,285,588,369	270,868	23,243,219	13,945,899	0		9,297,320
			1,953	538,877	228,615,313	117,059					
	種豚	6	1,638	102,300	81,840,000	49,963	9,405	6,268	0		3,137
	肉豚	5	12,441	174,174	139,339,200	11,200	22,381	14,920	0		7,461
	種雄牛	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	<b>304</b>	<b>35,026</b>	<b>13,745,155</b>	<b>4,792,212,563</b>	<b>136,819</b>	<b>78,020,878</b>	<b>46,817,694</b>	<b>0</b>	<b>31,203,184</b>		
疾病 傷害 共済	乳用牛	101	7,317	3,650,727	146,463,278	20,017	56,051,769	0	22,927,192	71,347,565	7,631,396
	肉用牛	96	3,296	1,411,447	29,795,583	9,040	9,253,696	0	2,982,935	10,668,900	1,567,731
	種豚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	種雄牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		<b>197</b>	<b>10,613</b>	<b>5,062,174</b>	<b>176,258,861</b>	<b>16,608</b>	<b>65,305,465</b>	<b>0</b>	<b>25,910,127</b>	<b>82,016,465</b>	<b>9,199,127</b>
合計	<b>501</b>	<b>45,639</b>	<b>18,807,329</b>	<b>4,968,471,424</b>	<b>108,865</b>	<b>143,326,343</b>	<b>46,817,694</b>	<b>25,910,127</b>	<b>82,016,465</b>	<b>40,402,311</b>	

引受状況

新制度での引受となり、死亡廃用共済と疾病傷害共済に分離され家畜区分ごとに集計するため、前年の旧制度との戸数・頭数・共済金額の比較は難しいが、共済掛金は30,600千円の減少となる。

2) 事故

①農業災害補償法(旧法)の規定により成立した家畜共済の共済関係

区分	項目	死 廃 頭 数 (頭)			死 廃 共 済 金 (円)	共 済 金 支 払 財 源		診 療 件 数 (件)	病 傷 共 済 金 (円)	共 済 金 支 払 財 源		支 払 共 済 金 合 計 (円)
		死 亡	廃 用	計		保 険 金 (円)	手 持 掛 金 等 (円)			保 険 金 (円)	手 持 掛 金 等 (円)	
乳 牛	乳用成牛	77	108	185	21,975,095	17,580,000	4,395,095	2,483	35,010,470	9,212,110	25,798,360	56,985,565
	乳用子牛	0	0	0	0	0	0	15	216,940	52,072	164,868	216,940
	乳用胎児	95	1	96	4,998,109	3,998,448	999,661	565	3,874,420	824,353	3,050,067	8,872,529
	小計	172	109	281	26,973,204	21,578,448	5,394,756	3,063	39,101,830	10,088,535	29,013,295	66,075,034
肉 牛	肥育牛	0	0	0	0	0	0	75	1,054,809	180,171	874,638	1,054,809
	肥育子牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他肉成牛	3	0	3	869,226	695,380	173,846	22	249,760	61,632	188,128	1,118,986
	他肉子牛	0	0	0	0	0	0	1	720	128	592	720
	他肉胎児	2	0	2	181,534	145,226	36,308	10	82,070	16,312	65,758	263,604
	小計	5	0	5	1,050,760	840,606	210,154	108	1,387,359	258,243	1,129,116	2,438,119
種 豚		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肉用種々雄牛		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定包括肉豚		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		177	109	286	28,023,964	22,419,054	5,604,910	3,171	40,489,189	10,346,778	30,142,411	68,513,153

②農業保険法(新法)の規定により成立した家畜共済の共済関係

区分	項目	死 亡 廃 用 共 済			共 済 金 支 払 財 源 支 払 共 済 金 (円)	共 済 金 支 払 財 源	
		死亡頭数(頭)	廃用頭数(頭)	総頭数(頭)		保 険 金 (円)	手 持 掛 金 等 (円)
搾 乳 牛		205	313	518	60,533,395	48,426,604	12,106,791
繁 殖 用 雌 牛		6	1	7	834,300	667,440	166,860
育 成 乳 牛 (子牛等)		118	2	120	5,902,709	4,722,164	1,180,545
育 成・肥 育 牛 (子牛等)		318	1	319	40,575,266	32,460,205	8,115,061
種 豚		0	0	0	0	0	0
肉 豚		0	0	0	0	0	0
種 雄 牛		0	0	0	0	0	0
計		647	317	964	107,845,670	86,276,413	21,569,257

区分	項目	疾 病 傷 害 共 済		共 済 金 支 払 財 源	
		件数(件)	支 払 共 済 金 (円)	保 険 金 (円)	手 持 掛 金 等 (円)
乳 用 牛		7,586	96,974,415	29,041,409	67,933,006
肉 用 牛		1,905	18,927,235	6,320,669	12,606,566
種 豚		0	0	0	0
計		9,491	115,901,650	35,362,078	80,539,572

被害状況 令和元年度は新・旧制度合計で、死廃事故は前年度に比べ113頭減少、(死亡102頭減少、廃用11頭減少)したが、全体で死廃共済金は、9,194千円増加した。病傷事故は前年度より775件減少した。乳牛(乳用牛)は1,926件・21,635千円の減少、肉牛(肉用牛)は1,151件・9,160千円の増加、全体で病傷共済金は12,475千円減少した。

(4) 果樹共済関係

1) 引受

果樹区分	引受戸数 (戸)	引受面積 (a)	標準収穫量又は 樹体、災害収入基準生産金額	標準収穫金額又は 樹体共済価額(円)	共済金額 (円)	農家負担共済掛金 (A) (円)	納入保険料 (B) (円)	手持掛金 (A)-(B) (円)	
									温州みかん
	2類(普通)	60	3,951.6	761,100 kg	197,011,674	83,180,000	318,598	—	—
	小計	(延) 96 (実) 65	4,831.3	930,287 kg	225,077,858	95,430,000	369,370	266,466	102,904
	災害収入	5	500.9	25,257,319 円	—	20,180,000	240,578	170,818	69,760
夏みかん	13	324.0	35,715 kg	4,035,795	2,320,000	21,857	17,228	4,629	
温州みかん樹体	37	1,453.7	49,068,351 円	226,825,022	107,690,000	112,521	69,244	43,277	
合計	(延) 151 (実) 120	7,109.9	—	—	225,620,000	744,326	523,756	220,570	

(注) うんしゅうみかんはR2年産、なつみかんはR3年産

引受状況

収穫共済: 新規加入等により22,244.6㎡の増となるが、農家の廃業、改植等により栽培面積が減少したため354.8㎡の減少。さらに、8戸が収入保険へ移行したため、1,403.9㎡減少したが、引受面積485.9㎡の増加となる。

樹体共済: 改植や借地の返却により152.8㎡の減少。

2) 被害

果樹区分	被害戸数 (戸)	被害面積 (a)	共済減収量 又は損害額	支払共済金 (円)	共済金支払財源(円)				支払年月日	
					保険金	手持掛金	法定積立金	特別積立金		
温州みかん	1類(早生)	1	10.0	925 kg	105,000	371,120	92,780	—	—	令和2年3月18日
	2類(普通)	3	86.0	4,961 kg	358,900			—	—	
	小計	(延) 4	96.0	5,886 kg	463,900	371,120	92,780	—	—	
	災害収入	1	108.8	1,196 kg	166,245	132,996	33,249	—	—	令和1年12月25日
夏みかん	2	45.0	2,853 kg	80,500	64,400	11,573	4,527	—	—	令和1年8月16日
温州みかん樹体	6	775.8	90.2 本	2,516,919	2,336,926	43,218	136,775	—	—	令和1年12月25日
合計	(延) 13	1,025.6	—	3,227,564	2,905,442	180,820	141,302	0	—	

被害状況

収穫共済: 平成30年産の災害収入方式では、7月上旬からの高温及び日照時間の増加により、果実の日焼けが発生、台風に伴う強風により風スレ果が発生した。平成31年産の半相殺方式の温州みかんでは、4月以降、断続的に鹿による葉や花芽の食害が発生、また、9月上旬にサビダニによる被害も発生し、さらに収穫期に猪、猿による果実の食害を受けた。夏みかんでは、前年の台風に伴う潮風害により落葉が発生し樹勢が衰え、着果量が減少した。

樹体共済: 平成30年の台風24号の通過に伴う強風のため、主幹の折損などによる樹体の損傷が発生、さらに鹿に主幹の樹皮などの食害を受けた。

※(参考) 平成31年度共済金支払対象引受

果樹区分	引受戸数 (戸)	引受面積 (a)	標準収穫量又は 樹体、災害収入基準生産金額	標準収穫金額又は 樹体共済価額(円)	共済金額 (円)	共済掛金 (A) (円)	納入保険料 (B) (円)	手持掛金 (A)-(B) (円)	
									温州みかん
	2類(普通)	54	3,291.5	666,901 kg	152,925,492	68,050,000	857,390	—	—
	小計	(延) 86 (実) 60	4,092.4	810,199 kg	176,524,494	78,640,000	989,660	707,037	282,623
	災害収入	9	939.7	35,024,729 円	—	27,980,000	310,950	216,788	94,162
夏みかん	18	681.0	80,371 kg	8,921,181	4,540,000	55,490	43,917	11,573	
温州みかん樹体	38	1,606.5	48,008,565 円	215,875,166	102,900,000	154,350	111,132	43,218	

(注) うんしゅうみかん: 半相殺は31年産、災害収入は30年産、樹体は30年度引受分

なつみかん: 半相殺は31年産

(5) 畑作物共済関係

1) 引受

区分	項目	引受戸数	引受面積	引受収量	共済金額	共済掛金	納入保険料	手持掛金
		(戸)	(a)	(kg)	(円)	(A)	(円)	(B)
茶	災害収入	6	100.2	3,212	544,000	8,849	6,881	1,968
大豆		8	1,488.2	8,675	1,717,650	93,993	73,104	20,889
	合計	14	1,588.4	11,887	2,261,650	102,842	79,985	22,857

(注) 茶は令和2年産

引受状況 ◎茶共済令和2年産

廃業2戸、収入保険へ移行2戸、茶価の低迷に伴う補償金額の減少により1戸減少した。合計5戸、面積1,048.4aの減となった。

◎大豆共済31年産

播種期の長雨及び日照不足により作付けできず、3戸、1.2aの減少となった。

2) 被害

区分	項目	被害戸数	被害面積	共済減収量	支払共済金	支払共済金財源 (円)					支払年月日
						保険金	手持掛金	法定積立金	特別積立金	不足金	
茶	災害収入	4	419.2	10,420	1,150,134	1,035,120	36,585	72,591	5,838	0	令和1年12月20日
大豆		6	810.1	3,282 △179	614,394	552,954	20,889	1,406	30,453	8,692	令和2年3月27日
	合計	10	1,229.3	13,523	1,764,528	1,588,074	57,474	73,997	36,291	8,692	

被害状況 ◎茶共済31年産

4月3日と10日の降霜、降雪により新芽が枯死・変形したため、収量の減少および品質の低下が起きた。

※大豆共済の不足金は、同じ畑作物共済勘定である茶共済災害収入方式区分より充当している。

◎大豆共済31年産

播種から発芽期は降雨が多く土壌湿潤害が発生した。成熟期に入る10月は降雨が続き日照時間が少なかった為、再び土壌湿潤の状態が続いた。また10月12日の台風19号により、冠水及び土砂流入した圃場も出た。このように降雨が多かったので子実の変形や不完全粒も多く、大幅な減収となった。更に、収穫期にかけて、鹿による食害を受け、大幅に減少する圃場も発生した。

※(参考) 茶共済 平成31年産引受

区分	項目	引受戸数	引受面積	引受収量	共済金額	共済掛金	納入保険料	手持掛金
		(戸)	(a)	(kg)	(円)	(A)	(円)	(B)
茶	災害収入	11	1,148.6	49,123	9,393,000	164,629	128,044	36,585

(6)園芸施設共済関係

1) 引受

施設区分	項目	引受戸数 (戸)	引受棟数 (棟)	設置面積 (㎡)	共済価額 (千円)	共済金額 (千円)	共済掛金 (A) (円)	納入保険料 (B) (円)	手持掛金 (A)-(B) (円)	
ガラス室	I 類									
	II 類	138	186	55,571	691,026	544,845	448,590	364,709	83,881	
	小計	138	186	55,571	691,026	544,845	448,590	364,709	83,881	
プラスチック ハウス	I 類	2	3	168	410	326	2,997	2,396	601	
	II 類	411	1,104	302,926	836,489	658,001	6,774,135	5,468,628	1,305,507	
	III 類	287	497	370,672	1,808,987	1,433,164	6,299,842	5,064,341	1,235,501	
	IV類	甲	213	326	296,859	2,073,775	1,626,867	3,139,758	2,527,389	612,369
		乙	64	87	70,399	628,411	499,891	845,954	682,218	163,736
	V 類	35	41	16,285	116,647	89,942	128,767	103,277	25,490	
	VI 類	41	81	23,568	67,570	52,388	552,756	446,921	105,835	
	VI 類	2	6	6,371	4,349	3,474	55,940	44,750	11,190	
小計	1,055	2,145	1,087,248	5,536,638	4,364,053	17,800,149	14,339,920	3,460,229		
合計	1,193	2,331	1,142,819	6,227,664	4,908,898	18,248,739	14,704,629	3,544,110		

引受状況 有資格台帳の整備により337棟の新規・増設・再引受があったが、廃業・未使用及び被害等による未修復で293棟減少。前年度より44棟増、共済金額では59,900万円の増となった。

2) 事故

施設区分	項目	被害戸数 (戸)	被害棟数 (棟)	共済金額 (千円)	損害額 (円)	支払共済金 (円)	共済金支払財源 (円)				
							保険金	手持掛金	法定積立金	特別積立金	
ガラス室	I 類										
	II 類	5	5	24,419	784,250	581,469	523,320				
	小計	5	5	24,419	784,250	581,469	523,320				
プラスチック ハウス	I 類										
	II 類	67	103	86,620	23,594,198	13,591,962	12,232,723				
	III 類	70	103	353,743	37,270,822	21,695,476	19,525,885				
	IV類	甲	38	54	272,279	22,976,832	17,138,409	15,424,541			
		乙	4	5	25,874	3,763,517	3,009,425	2,708,479			
	V 類	6	7	20,699	448,073	358,421	322,577				
	VI 類	6	9	11,254	6,920,288	987,371	888,632				
	VI 類										
小計	191	281	770,469	94,973,730	56,781,064	51,102,837					
合計	196	286	794,888	95,757,980	57,362,533	51,626,157	5,736,376				

被害状況 5月4日電害、9月8日台風15号、10月12日台風19号の強風雨により、施設本体及び被覆材、設備等に被害を受けた。

(7)任意共済関係

1) 引受

2) 事故

区分	引受戸数 (戸)	引受棟数 又は 台数	共済金額 (万円)	平均共済金額 (万円)	共済掛金 (円)	事故件数 (件)	加入総共済金額 (万円)	共済金支払 (円)				
								火災	風水害	その他	計	
建物共済	火災	8,460	11,025	10,630,064	964	76,875,974	11	15,020	139,834		1,333,552	1,473,386
	総合	2,083	2,721	2,489,830	915	64,380,728	138	174,570	279,669	61,932,433	1,368,765	63,580,867
	小計	10,543	13,746	13,119,894	939	141,256,702	149	189,590	419,503	61,932,433	2,702,317	65,054,253
農機具共済	一般	1,285	3,359	554,537	165	25,369,529	43	13,681		2,391,980	4,931,733	7,323,713
	ファン	104	243	20,459	84	1,541,266	20	2,550		17,334	673,574	690,908
	小計	1,389	3,602	574,996	160	26,910,795	63	16,231	0	2,409,314	5,605,307	8,014,621
合計	11,932	17,348	13,694,890	—	168,167,497	212	205,821	419,503	64,341,747	8,307,624	73,068,874	

引受状況 建物共済は他保険との競合等により引受棟数前年比95.6%で637棟の減となり、共済金額も457,882万円の減となる。  
農機具共済は廃業などにより、引受台数前年対比97.4%で43台の減となったが、入替や新規引受により共済金額は1,595万円の増となる。

事故状況 建物共済は火災事故で2棟・42万円、風水害で158棟・6,194万円、その他の事故は、落雷等で17棟・269万円となり前年より1,278万円増加した。  
農機具共済は一般農機具が接触事故、風水害等で44台・732万円、防霜ファンは、落雷事故等で20台・69万円となり269万円増加した。